

# YPAM

Yokohama International Performing Arts Meeting

## オル太

OLTA



ニッポンのイデオロギーは  
永久に不滅なのか——  
YPAM委嘱による新作のワークイン・プロGRESS上演

# ニッポン・ イデオロギー(仮)

Nippon Ideology (tentative title)

ワークイン・プロGRESS

©2022 OLTA

2022.12.9 [Fri] - 11 [Sun]

KAAT 神奈川芸術劇場 〈大スタジオ〉

主催: 特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター | 共催: YPAM実行委員会 | 文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

ypam.jp

## ニッポン・イデオロギー(仮)

Nippon Ideology (tentative title)

照明: 武部瑠人、藤本隆行 (Kinsei R&D) | 映像:  
武部瑠人 | 音響: 濱田夢花・加登匡敏 (MUSA  
ENTERPRISE) | ドラマトゥルギー: 林立騎 | 制作: 飯  
川恭子、柴田聡子 | 出演: オル太、他 | 作・演出: オル太



Hyper Popular Art "STAND PLAY" | Photo: Yuichiro Tamura



©2022 OLTA

「かつては神の国。現世は苦行なのか。私たちはこの国に生まれ、生きている。世界に遅れを取らないために走り続けた神の国、ニッポン。私たちは今の社会をどのように享受し、または耐えなければならないのか。家庭や学校、職場という集団の中で現れてくるイデオロギーの微発」——ジャンルを横断した活動を展開するアーティスト・コレクティブ、オル太が、YPAMで2年間にわたり、「ニッポンのイデオロギー」がとる日常的形態のパフォーマティブな分析に取り組みます。無意識の言葉、不可視の不安と欲望からつくられる感覚の集積。教育から、憲法から、広告から、ブラウザから、あるいはコンビニやファーストフード店やスーパーマーケットから、日々再生産され、動員されているイデオロギー。ニッポンのイデオロギーは永久に不滅なのでしょうか？ 今年は一歩ワークインプログレスとしての試演。YPAM2023で完成作品を初演予定です。


“Once a nation of God. Is this life now a penance? We were born and live in this country. Nippon, God’s country, which kept running to stay ahead of the rest of the world. How might we enjoy or endure this society now? The enframing of ideologies that emerge from institutions called home, school, and workplace”——OLTA, an artist collective working across disciplines, is undertaking a performative analysis, over two years at YPAM, of the forms that “Nippon (Japan) Ideology” takes in everyday life. This project looks to an aggregate of sensations created from subconscious wordings, invisible anxieties and desires, as well as ideologies that are reproduced and mobilized daily through education, the Constitution, advertisements, web browsers, and even convenience stores, fast food restaurants, and supermarkets. Has the ideology of Nippon become indestructible? OLTA will present a work in progress this year, and the completed work at YPAM2023.

### オル太

2009年に結成された6名(井上徹、川村和秀、斉藤隆文、長谷川義朗、メグ忍者、Jang-Chi)によるアーティスト・コレクティブ。創造行為、ひいては人間の根源的な欲求や感覚について、自らの身体をパフォーマンスという形で投げ、問いかけている。近年の主なパフォーマンスやプロジェクトに『超衆芸術スタンダードプレー』『耕家:不確かな生成』『生者のくに』『Safari Firing』など。



Photo by Takehiro Iikawa

会場	<b>KAAT 神奈川芸術劇場 &lt;大スタジオ&gt;</b>
日時	12.9(金) 18:00開演 12.10(土) 13:30開演 12.11(日) 13:00開演
上演時間	200分(休憩あり)
チケット料金	一般:2,500円   YPAM参加登録者:1,000円
チケットお取り扱い	YPAMウェブサイト   <a href="http://ypam.jp">ypam.jp</a>
入場に関する情報	開場は開演の30分前。未就学児童入場不可。車椅子席・多目的トイレあり(YPAMまでお問い合わせください)。
お問い合わせ	 Yokohama International Performing Arts Meeting 横浜国際舞台芸術ミーティング 〒231-0053 横浜市中区初音町2-43-6-2F Tel 045-264-6514 info@ypam.jp

YPAMとは? YPAM(横浜国際舞台芸術ミーティング)は、同時代の舞台芸術に取り組む国内外のプロフェッショナルが、公演プログラムやミーティングを通して交流し、舞台芸術の創造・普及・活性化のための情報・インスピレーション・ネットワークを得るために集まるプラットフォームです。ほとんどのプログラムは一般のお客様にもご参加いただけます。詳細はypam.jpまで。

主催: 横浜国際舞台芸術ミーティング実行委員会(公益財団法人神奈川芸術文化財団、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、特定非営利活動法人国際舞台芸術交流センター) | 共催: 横浜市文化観光局、公益社団法人全国公立文化施設協会 | 助成: 公益財団法人セゾン文化財団 | 協力: BankART1929、特定非営利活動法人黄金町エリアマネジメントセンター | 後援: 外務省、神奈川県、国際交流基金 | 令和4年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

 Kanagawa Arts Foundation

 Yokohama Arts Foundation

 PARC

 OPEN YOKOHAMA

 THE SAISON FOUNDATION

 文化庁

 MAO CUL  
横浜国際舞台芸術ミーティング

## KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0023 神奈川県横浜市市中区山下町281  
TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691  
<https://www.kaat.jp>

- みなとみらい線: 渋谷駅から東横線直通で35分! 横浜駅から6分!  
日本大通り駅から徒歩約5分。元町・中華街駅から徒歩約8分。
  - JR根岸線: 関内駅または石川町駅から徒歩14分。
  - 市営地下鉄: 関内駅から徒歩14分。
  - 市営バス: 芸術劇場・NHK前すぐ。
- 横浜駅前東口バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約25分)  
桜木町駅前バスターミナル 2番のりば乗車(所要時間約10分)  
※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。  
ただし、148系統急行線を除く。  
●神奈川芸術劇場有料駐車場(65台)もご利用下さい。  
指定管理者: (公財)神奈川芸術文化財団



KAAT神奈川芸術劇場では新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底し主催公演を実施します。ご来場前に必ず、劇場HPの「ご来場のお客様へのお願い」をご確認ください。

